

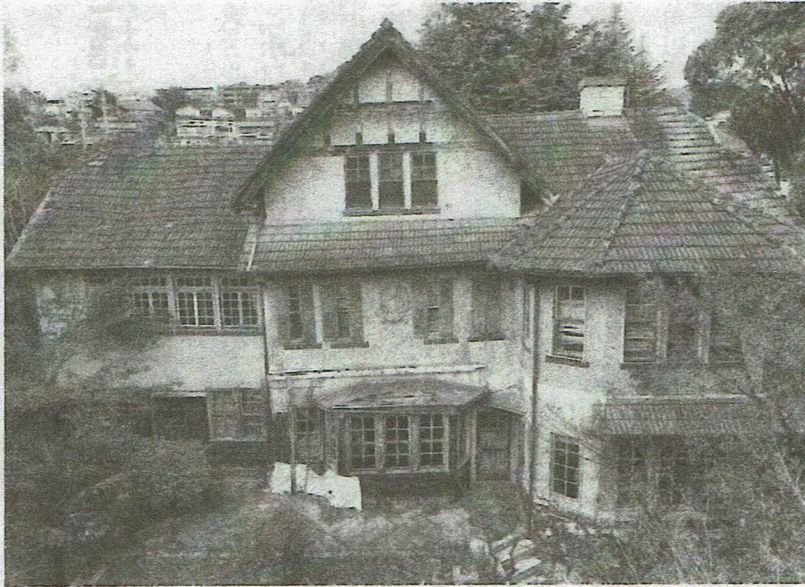
# 旧安田邸 再生へ一歩

## 宝塚・雲雀丘

### 民間1社資金提供申し出

宝塚市雲雀丘にある大正時代の洋館「旧安田邸」について、再生に向けた動きが進んでいる。宝塚市に寄贈されてから14年。活用方法が決まらないまま時間が過ぎていたが、民間企業が資金を負担して修復し、市民グループとともに運営を担う計画だ。市も前向きにとらえている。

(高部真一)



住居街に残る旧安田邸。保存活用に向けて動き出した(宝塚市で)＝市提供

旧安田邸は1921年(大正10年)に建設された木造3階建て(277平方メートル)。南社マンの安田辰治郎氏が米国赴任中に憧れた洋館をモデルに自ら設計した。外壁は淡いピンク。洋風の暖炉がある一方で、和室を配し、壁の一部に竹を使うなど、和洋折衷のユニークな構造になっている。

大正時代に開発された郊外住宅地・雲雀丘地区の先駆的な建物で、戦後は一時、進駐軍に接収されるなどの歴史を持つ。市の都市景観形成建築物に指定され、県の「ひょうごの近代住宅100選」にも選ばれている。

辰治郎氏の長女が2010年に亡くなり、遺志に基づき市に寄贈された。市は19年、建物を譲渡、土地を貸与し、

### 市に寄贈から14年 市民団体「最後のチャンス」

公共の施設として利用するための条件で、事業者を公募したが、応募はなかった。その後は活用方法が決まらず、耐震性の問題や、雨漏りがひどいことから解体を検討していた。

そんななか、今年4月に市民らが一般社団法人「雲雀丘安田邸プロジェクト」を発足。講演会を開いて近隣住民の関心を高めるとともに、会社や団体を回って協力を呼びかけたところ、1社が資金提供を申し出たという。田中富基代表理事は「最後のチャンス。関係者と話し合いながら、いい形で再生させたい」と話。

山崎晴恵市長は9月の市議会で、旧安田邸の活用について「歴史的、文化的意義は十分理解しており、法人と協議して進める」と答弁した。市は、事業の内容やスケジュールを法人側と相談している。

同法人は9日午前10時～正午、旧安田邸近くの雲雀丘倶楽部3階大ホールで「安田邸再建のこれから」と題した講演会を開き、再生策について論議する。

東羊大臣路17年ぶりV

秋の近畿高校野球

点を追加した。先発のエンズバ下連投手は100球を投げ、皮を7で投げた。

ルを迎えにいくような体勢になってバランスを崩す癖があり、岡田龍主監督(庄



宝塚市、宝塚市教育委員会後援

# 「安田邸再建のこれから」

～今回は再生します！歴史的事業に参加されませんか？～  
今からならプランニングから関わって頂けます！

## 講演内容

- ・現状の活動報告と今後の動き（田中代表理事）
- ・建設と景観形成の詳細及び事業計画概要  
（恵星建設株式会社 代表取締役 小田 竜哉）
- ・御参加頂いた皆様と質疑応答

11月9日（土） 10：00～12：00

場所：雲雀丘倶楽部3階大ホール ※申込不要

阪急雲雀丘花屋敷駅西出口左へすぐ  
宝塚市雲雀丘1丁目1番地



一般社団法人  
雲雀丘安田邸プロジェクト

宝塚市雲雀丘1-2-11

ユースクエアプラス雲雀丘花屋敷207

お問い合わせはこちら <https://www.pj-yasuda-hibarigaoka.jp/>

☎072-769-6255

MAIL : [pj-yasuda001@g-limit.com](mailto:pj-yasuda001@g-limit.com)

